

まちの話題

大屋で活動する芸術家が作品展開催

大屋を拠点に創作活動をしている芸術家10人による合同作品展「うちげえのアートおおや」が、6月28日から7月6日にかけて、大屋町大杉のふるさと交流の家「いろり」など3会場で開催されました。

これは、作品展での交流を通して地域活性化を図ろうと実施されているもので、今回で13回目となります。会場には、木彫や書、陶芸、絵画などの作品約400点を展示。来場者は、古

民家の素朴な雰囲気と調和した作品を鑑賞していました。

出品者の一人である吉井直行さんは「3会場で展示することで展示スペースにゆとりができ、空間と調和した配置ができました。大杉区をはじめ地域の支えに感謝します」と話しました。

吉井さん(奥)から作品の説明を受ける来場者



養父市出身の前田紀子さん 青年海外協力隊としてパキスタンへ

このたび、八鹿町国木出身の前田紀子さん(27歳)が、国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊としてパキスタンに派遣されることになり、6月18日に梅谷市長を表敬訪問しました。養父市出身の青年海外協力隊員は、前田さんで7人目です。

前田さんは、八鹿高校を卒業後、障害を持つ人の機能回復を図る理学療法士を目指して専門学校に入学。同校を卒業後、高知県の病院で約5年間勤務していました。専門学校の時に見たテレビの番組がきっかけで、途上国の人を助けたいと思い、協力隊に応募されたそうです。

6月23日に現地に出発し、パキスタンのイスラマバードの国立病院で2年間勤務される前田さんは、「現地と方と生活を共にして、障害のある方の生活を助けられるように頑張りたい」と話しました。



市長を表敬訪問した前田さん

探訪ツアーで地域の魅力を再発見

地域の方の案内で、その地域の魅力や歴史、文化に親しむことを目的とした「第1回大屋の村おら探訪ツアー・歩こおおや(主催/大屋地域局、おおや村役場の会)」が6月21日に開催され、参加者45人が大屋町大杉と同蔵垣を訪れました。

大杉では、同区在住の河邊操さんが、県の景観形成地区の指定を受けている養蚕農家群の魅力を中心に説明。また、木彫展示館や二宮神社に向かう途中には、各家の建築に関する工夫などについて説明されました。一方、蔵垣では、同区在住の田村重信さんから、蔵垣1号古墳や上垣守国養蚕記念館などについて説明を受けました。同記念館では、飼育中の蚕に触れたり桑の実を食べるなど、貴重な体験をしました。

参加者からは、「近くに住んでいても知らない場所があり、とても新鮮でした」といった感想が寄せられました。



蚕を見学する参加者